

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No. 57

2018年7月発行

暑中お見舞い申し上げます



地震、豪雨により、被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

猛暑が続きます。どうぞお身体に気をつけてください。

6月18日朝の地震で、ほうぷの1階天井裏の水道管が壊れて、一部水浸しになり、ライフラインがストップしてしまいました。職員3名はほうぷ近隣に住んでいるので、9時半には到着したのですが、どうしようかと途方にくれてしまいました。大家さんが迅速に対応してくださり、工務店さんと電気屋さんが駆けつけてくださって、当日には復旧作業が終わりました。水浸しになったのが、奥の使用していない勝手口あたりだったので、消耗品等は水浸しになりましたが、翌日の午前中に掃除も終わり、午後にはいつも通りに子どもたちを迎えることができました。ご近所の方々も心配をしてくださり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

平成29年度事業報告

平成29年度も地域住民や関係機関と連携しながら以下の事業を展開することができた。

① 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業（放課後等デイサービス）

平成28年度末の大阪市の実地指導をもとに、運営上の改善を図り、利用保護者の満足度調査を実施して当法人ホームページに結果を掲載した。下半期は、常勤職員が減り、目指していた事業内容の充実は図ることができなかったが、エルムおおさかの訪問指導を受け、利用者への支援や個別支援計画の作成に役立て支援内容の充実を図った。

「こどもからはじめる個人将来計画」による計画作成及び実践を継続することで、保護者と信頼関係を築き、それぞれの子どもに対して関係機関とのネットワークを構築していくことができた。「自立生活プログラムこども版」を用い、「食」をテーマにして管理栄養士による食事のバランスについての研修、献立づくり、調理や振り返りなどにより、子どもたちの生活体験を広げることができた。地域の方々や学生ボランティアの協力を得て、季節の行事や外出イベントを開催し、子どもたちの体験の幅を広げると同時に、地域住民や学生ボランティアの障害児に対する意識啓発をすすめることができた。年度末には、職員（常勤及びパート）を対象として、救命講習会を開催した。

② 障害児者の自立に向けた支援事業

毎年恒例となった浴衣を着て夜店に行くイベントで、老人クラブ連合会のご協力により、子どもたちも学生ボランティアも貴重な体験をすることができた。自立に向けての重度障害者の歩みをまとめた冊子を発行し、共に育ち共に暮らすことの大切さを発信した。旭区社会福祉協議会や地域活動協議会のイベントに参加し、子どもたちが自分の作品を販売して仕事の体験を行うと同時に地域の方々と交流もはかることができた。

また、旭区地域自立支援協議会に参加し、地域の関係団体とのネットワークにより障害者の地域生活支援に取り組んだ。同協議会こども部会では、昨年度に続き、就学進学相談会と保護者向けセミナーを行い、障害児の家族の支援に取り組んだ。

③ 子育て支援事業

「あさひの輪」「旭区子育て安心ネットワーク」の定例会に参加し、「子育てわいわい広場 in ASAHI」の開催に協力し、区内の子育て支援の充実に向けての活動を継続した。

④ 生涯学習講座等の企画・運営支援事業

大学のゲストスピーカーや研修会の講師を行い、障害児理解の啓発活動に取り組んだ。

⑤ まちづくりの推進に関する企画及び研究事業

清水校下地域活動協議会の定例会や地域の活動に参加した。



平成 29 年度 貸借対照表

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	10,821	
預金		
普通預金 三井住友銀行 千林支店	318,266	
普通預金 三菱東京UFJ銀行 森小路支店	10,359	
未収金		
障害児通所給付費 (2月3月分)	3,211,910	
流動資産合計		3,551,356
2 固定資産		
建物付属設備	618,281	
権利金	37,500	
固定資産合計		655,781
資産合計 (A)		4,207,137
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
人件費 (3月分)	1,194,219	
預かり金		
社会保険料	61,600	
源泉所得税	67,582	
流動負債合計		1,323,401
負債合計 (B)		1,323,401
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	2,324,014	
当期正味財産増加額 (減少額)	559,722	
正味財産合計 (C)		2,883,736
負債及び正味財産合計 (B) + (C)		4,207,137

平成29年度 活動計算書
自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

特定非営利活動法人 地域生活サポートネット ほうぶ

科目	金額 (単位:円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	50,000	
賛助会員受取会費	154,000	
会費収入合計		204,000
2 受取寄付金		
受取寄付金	290,000	
受取寄付金		290,000
3 受取助成金等		
受取民間助成金	0	
受取助成金合計		0
4 事業収益		
障害児通所支援事業収益		
障害児通所給付費	18,026,901	
自己負担料 (利用料)	496,320	
実費負担分 (創作材料)	175,952	
障害児者の自立に向けた支援事業収益	22,846	
事業収入合計		18,722,019
5 その他収益		
受取利息	12	
その他収入合計		12
経常収益合計		19,216,031
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給与手当	7,530,870	
賞与手当	1,440,000	
法定福利費	1,620,715	
通勤費	298,340	
福利厚生費	183,132	
人件費計	11,073,057	
(2) その他経費		
創作材料費	214,739	
印刷製本費	340,000	
旅費交通費	38,030	
通信費	151,842	
消耗品費	367,375	
修繕費	49,000	
水道光熱費	151,266	
貸借料	1,560,000	
行事費	139,681	
新聞図書費	6,966	
保険料	43,750	
研修費	57,000	
雑費	27,050	
その他経費計	3,146,699	
事業費合計		14,219,756
2 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	3,160,000	
法定福利費	141,677	
通勤費	12,000	
福利厚生費	10,920	



人件費計	3,324,597		
(2)その他経費			
印刷製本費	27,500		
旅費交通費	14,190		
通信費	57,671		
接待交際費	7,320		
新聞図書費	9,015		
減価償却費	101,992		
保険料	3,600		
租税公課	168,300		
支払手数料	657,200		
雑費	65,168		
その他経費計	1,111,956		
管理費合計		4,436,553	
経常費用計			18,656,309
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			559,722
当期正味財産増減額			559,722
前期繰越正味財産額			2,324,014
次期繰越正味財産額			2,883,736



平成30年度事業計画

平成30年度も地域住民や関係機関と連携しながら、地域に密着した事業を展開していく。

① 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業（放課後等デイサービス）

今年度は、職員体制の変更に伴い、活動内容や室内環境等を見直し、災害に備えた体制の見直しもしていく。定期的な支援計画の見直しとケース会議を継続し、子どもそれぞれの個別支援計画に基づいた活動に取り組み、支援内容の充実をはかる。「こどもからはじめる個人将来計画」による計画作成や実践を継続し、それぞれの子どもに対して関係機関とのネットワークを構築していくように努める。

「自立生活プログラムこども版」を実践し、毎月のイベントや、夏休みのしごと体験やクッキング、グループホーム見学等を通して、子どもたちが「働」「住」「衣」を意識できる取り組みを行い、社会生活体験を広げる。また、地域の方々やボランティアの協力を得ることで、障害児に対する地域の理解がすすむよう活動していく。

② 障害児者の自立に向けた支援事業

地域住民や学生ボランティアの協力を得ながら、公共交通機関を使用しての外出、浴衣で夏祭りに参加、宿泊研修、地域行事への参加などを定期的に行い、体験を広げ地域の方々と交流する機会を創る。障害をもつ子どもの家族を対象に相談支援の活動を行う。旭区地域自立支援協議会に参画し、地域の障害者福祉の推進を行う。同協議会こども部会においては、区役所、相談支援事業所や学校などと連携して、今年度も、就学進学相談会や保護者向けセミナーの開催など、障害児の地域生活を支援していく。

③ 子育て支援事業

「旭区子育て安心ネットワーク」、「あさひの輪」などの子育て支援関係の定例会に参加して情報交換を行ったり、子育て支援イベントなどに協力したりして、区内の子育て支援の充実に向けての活動を継続する。また、虐待防止のための地域に密着した見守りネットワークを構築する。次年度に向けて、地域と連携した子育て支援事業を実践するための検討を行っていく。

④ 生涯学習講座等の企画・運営支援事業

講座等の講師を行い、地域住民や学生に対して、障害児者の理解にむけて啓発を行う。

⑤ まちづくりの推進に関する企画及び研究事業

地域活動協議会に参加し、地域の方々との関係をより深めると同時に、地域に貢献できる活動をしていく。

大阪城公園に行こう！

日 時：2018年6月9日（土）10：00～17：00

参加者：子ども12名、学生ボランティア10名

地下鉄に乗って大阪城公園に遊びに行きました。梅雨の空模様を心配していましたが、晴れてよい天気でした。太陽の広場でお弁当を食べ、みんなでゲームをしました。その後、大阪城に上がるグループ、遊具で遊ぶグループに分かれて行動しました。最後に太陽の広場に集まり、ボール遊びをしたりゆっくりくつろいだりして、帰路につきました。

大阪城公園では予想以上に気温が高くなり、水分を買い足して配ったりしましたが、途中で「しんどい」という子や帰りにクタクタの子がいました。スタッフも暑さに気を取られて、大阪城をバックに全員で集合写真を撮るのをすっかり忘れていました。帰り道、大阪城ホールをバックにすごい人混みの中で集合写真を撮りました。

<ボランティアの感想から>

- ・今日は、子どもたちがたくさん来ていたのでいつもよりにぎやかでした。担当の子どもが、公園で遊びすぎて帰りものすごくしんどそうだったのが少し心配になりました。大阪城公園では、私自身も一緒に野球をしたりして楽しかったです。帰りは電車で座る子がたくさんいて疲れている様子がみられたのでゆっくり休んでほしいです。
- ・今日は、電車を使い、集団で移動をしていたので、一般の方に迷惑をかけないか心配でしたが、皆、マナー良く電車に乗ってくれていたのが安心しました。大阪城に着いてからは、昼食後、ジャングルジムで子どもたちと一緒に遊んでいて、改めて、元気さを感じました。



放課後等デイサービス「楽童ほうぶ」報告

4月から2名の児童指導員を迎え、3名の児童指導員（社会福祉士、小学校教諭資格、養護教諭資格）と管理者兼児童発達支援管理責任者1名（社会福祉士）の常勤4名にアルバイトさんを加えて運営をしています。職員体制が変わったので、5月6月は保護者懇談を行い、改めて、一人ひとりの子どものアセスメントを見直しました。エルム大阪の訪問指導も受けました。5月末にボランティア交流会を開催し、アルバイトやボランティアの方々に参加していただき、学生さんたちと懇親を深め、若い方々の意見を伺いました。5月末、保護者対象の満足度調査と事業所内評価を行いました。今年度は独自アンケートで実施しました。結果は保護者に配布し、HPに掲載をします。（7ページに一部掲載）

支援内容の見直しも行っています。まず、スタッフ間の情報共有をしっかりと行うようにし、タイムスケジュールの見直しをしました。学習タイムの取り組みも変更しました。土曜日の創作活動についても、七宝焼きやさおり織だけではなく、作って遊ぶ工作や黒画用紙を切ってトランスパレント紙を貼る工作や、木工や看板作りなど、幅を広げようと検討をしています。音楽活動も、子どもたちがより関心を持って取り組めるようにと音楽療法専攻の学生さんと一緒に企画や振り返りをしています。

また、課題が発生したり子どもたちに考えてほしいことがあったりしたときは、こども会議を開いています。話し合っ決めていくということは、障害をもっていない子どもでも難しいことだと思います。スタッフがサポートしたり発言を導いたりしながら、子どもたちが考えたり意見表明をしたり納得してくれたりするようにと機会を作っています。

七夕には短冊を笹につけ、スーパーボールとポイを老人クラブさんにお借りして、大雨だったので室内にブルーシートを敷いて、スーパーボールすくいをしました。



春の遠足

日時：2018年4月21日（土）10：00～17：00

参加者：子ども8名、ボランティア9名 行き先：城北公園

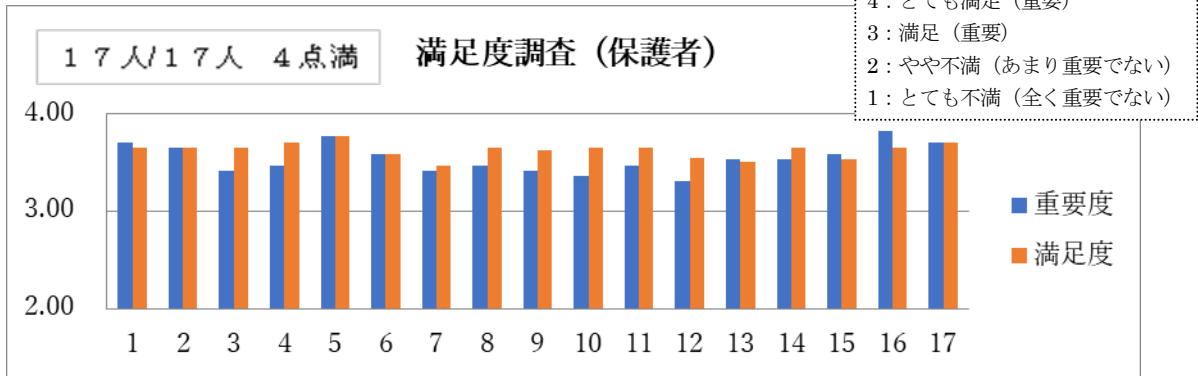
城北公園に歩いていきました。好天で遠足日和。子どもたちが広い公園でのびのびと好きなことをして遊べるように一対一で学生ボランティアがつき、危険そうな場所にはスタッフがスタンバイして携帯で連絡を取り合いました。公園の遊具で遊ぶ子ども、わんど（淀川の沿岸）で川遊びをする子ども、木登りや四つ葉のクローバーを探す子ども、広場でボール遊びをする子ども。自然と触れ合っ遊ぶことができました。

<ボランティアの感想から>

- ・今日は、Aちゃんの担当でした。自由時間のはじめの方は、遊具で遊んでいてもなかなか1つのことに集中できず、集合場所で休憩することが多かったのが楽しくないのかなと思っていました。でも、最後の方になると、タンポポをとばしたり四つ葉を探していたりすごく楽しそうにしていたので良かったです。また、1回生の子たちがたくさんボランティアの体験に来てくれたので良かったです。
- ・話しやすくて楽しかったです。Bちゃんと木を集めたり水泳のことを話すことができ良かったです。初めての人とたくさん話すことができたので話し方や伝え方が学べたと思います。



満足度調査報告（一部抜粋）



- 質問** 1 職員の対応の仕方 2 職員への相談のしやすさ 3 ほうぷからの連絡や報告
4 情報提供などのわかりやすさ 5 こどもの主体性の尊重 6 個別支援計画
7 平日の活動内容 8 休日の活動内容 9 体験イベントの内容 10 季節行事の内容
11 地域との交流の機会 12 個人将来計画 WS の取り組み（* 実施した人だけ）
13 学校や福祉サービス事業所との連携 14 施設の安全性や衛生面 15 危機管理体制
16 子どもが通うのを楽しみにしている 17 事業所の支援内容

保護者からのコメント

- ・小学校に居る間は何かと問題があれば相談をしていました。中学校に入学してからも、トラブルが起こる起こらないに関係なく相談できるから助かっています。
- ・地域のイベントで子どもが作成した作品が売れたことが本人にはとても嬉しいことだったように思います。貴重な体験でした。デイの内容は充実していて安心しています。
- ・とても相談しやすいです。本当に頼ってばかりで。心強いです。

*事業所の評価や自己評価についてはHPをご覧ください。



● 地域活動報告 ●

- 6月8日～7月17日 就学進学なんでも相談会を旭区内10小学校にて開催 相談者43人
（旭区地域自立支援協議会子ども部会主催）こども部会相談員として参加
- 5月16日 旭区地域自立支援協議会定例会（旭区役所）
- 5月21日 旭区地域自立支援協議会こども部会定例会（旭区役所）
- 5月28日 清水地域活動協議会定例会
- 6月1日 あさひの輪（子育て支援ネットワーク）定例会（旭区社会福祉協議会）
- 6月7日 子育て安心ネットワーク会議（旭区役所）
- 7月5日 子育てワイワイ広場 in Asahi（旭区民センター） 来場者200人
放課後等デイサービス職員2名がお手伝い

猛暑が続きます。暑くても子どもたちは外に出たがるのですが、この夏は室内で楽しめる遊びを工夫しなければと考えています。ほうぷの庭には、ゴーヤ、ミニトマト、キュウリ、ピーマンがなりました。クッキングで使っています。夏休みはじっくりと活動に取り組むことができます。一人ひとりの子どもにとって、スタッフにとってもいい夏にしたいと思います。

暑さはまだまだこれからです。くれぐれも熱中症にご注意ください。

